

北朝鮮 ICBM発射か



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2017年

号外

購読申し込み

0120-13-1231

ホームページ

www.sakigake.jp

携帯サイト

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、当社ホームページをご覧ください。

高度4000キロ、青森沖に落下

北朝鮮は日本時間29日午前3時18分ごろ、弾道ミサイルを発射した。日本政府によると、約53分間

で約千キロ飛行、青森県西方約250キロの日本の排他的経済水域(EEZ)に落下したとみられる。到

達高度は4千キロを大きく上回り過去最高。大陸間弾道ミサイル(ICBM)を高い角度で打ち上げたとみられ、米専門家は通常軌道なら飛行距離は1万3千キロ以上で米全土が射程に入るとの見方を示し

た。北朝鮮は米国の今月のテロ支援国家再指定に反発、核搭載可能なICBM開発の継続姿勢を鮮明にした。

北朝鮮のミサイル発射は、北海道上空を通過した9月15日以来。安倍晋三首相は「断じて容認できない。圧力を最大限に高めていく」と述べた。政府は北朝鮮に嚴重抗議。国連安全保障理事会は、緊急会合を開催する方向で調整に入った。



北朝鮮の弾道ミサイル発射を受け、報道対応する小野寺防衛相＝29日未明、防衛省



ミサイルが落下したと推定される水域

排他的経済水域(EEZ)